

2018 年度韓国留学体験レポート

国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017080

竹之内一菜

今回の留学での体験をもとに後輩たちへのアドバイスを主に書いていく。学習面、生活面、友人関係面において感じたことを述べる。

初めに、学習面についてだ。留学において最も不安を抱えていることは語学力ではないだろうか。しかし安心してほしい。留学先の慶熙大学の国際教育院では、留学生一人一人にあった教育を受けられる。自分と同じレベルの学生たちと親切的な教授の方々たちが全面的に支えてくださるおかげで思いっきり韓国語を学ぶことができる。また、日本語可能の教授が **nuis** の学生の専属となり生活面も気を配ってくださるおかげで困ることなく生活できる。もし、現在の語学力に自信のない人がいたとしたら、心配せずに留学に行ってみてほしい。韓国の上達についてだが、毎日ネイティブの韓国語を身近に聞くために耳が慣れる。そして会話をするための文法や表現を学んでいく中で確実に語学力は向上するはずだ。さらに、自身の努力次第で話せる表現、単語をどんどん増やして行ってほしい。

次に、生活面についてだ。まず韓国と聞くと辛い食べ物を想像する人が多いであろう。その通り、韓国には辛い物が多くあるため気を付けて食事を選んでほしい。毎日外食をすることは、体調面、金銭面にも大変なため友達同士でお金を出し合って自炊することを勧める。また、休日には様々なところへ足を運ぶのが良いだろう。ソウルに住むため交通の便が大変良い。地下鉄を利用し、ぜひ出かけてみてほしい。学校の授業とはまた違う文化体験ができるはずだ。

最後に、友人関係面についてだ。留学に行ったら **nuis** の学生たち同士で固まりすぎず、クラスの外国人やトウミとの時間を多く過ごすことが大切だ。もちろん **nuis** の学生とは休日に出かけたり一緒に生活したりしてさらに親しくなった。体調が悪い時などは助け合って協力してきてきた。しかし、せっかく留学に来たからこそその出会いも貴重な経験となる。クラスの友達とは韓国語で会話するため、自分の思うことや相手が言いたいことを 100% 表現、理解することは難しいが、つたないながら一生懸命会話をすることで仲良くなれた。クラス会が頻繁に開催されたり、仲がいい人同士でご飯に行ったりした。韓国語を勉強する同士、国境を越えて親しくなれるはずだ。また、トウミの学生とも多く関わってほしい。ただ単に韓国語を教えてもらうことだけではなく、自分と同世代の韓国人と話すことで授業では学べない若者の韓国文化や、流行のもの、おいしい食べ物など様々な話をした。韓国の文化を知ることにおいても韓国の上達においても最も重要なこと

は身近な韓国人から吸収することだと考える。積極的にトウミとの関係を築いて
いってほしい。

これまで、学業面、生活面、友人関係面について後輩の皆さんにアドバイスを
してきた。この体験談が韓国留学へ向けての助けになったら幸いである。